

第20回シリサイド系半導体・夏の学校の開催について（実施報告書）

開催日時	2023年7月22日, 23日
場所	アイランドホテル浦島(日間賀島) 会議室
参加者	48名(内応用物理会員 28名)
実施組織	シリサイド系半導体と関連物質研究会

【開催目的】シリサイド系半導体および関連物質に関するトピックス、特に結晶成長や制御、熱電材料、エネルギー有効利用など広範囲に渡る分野の主導的研究者に講義していただき、シリサイドを主とした物質の特性や機能の向上、さらに新物質、新機能の創生について教員、研究者、学生が自由な雰囲気の中で討論を行う。

【開催内容】知多半島の先端に浮かぶ日間賀島(愛知県知多郡)の海を見渡せる静かで開放的な環境において、下記内容の研究会を二日間に渡り開催した。

1. シリサイド系関連物質の研究者を講師とした講演4件(招待1件、オンライン1件含む) 2. 博士後期課程の学生による講演3件 3. ポスター発表23件。

【開催結果(成果)】国内14の大学・研究機関から48名の参加(内、オンライン参加1名)があった(学生の参加は32名)。研究の最前線で活躍する研究者を招いた4件の講演会では、学生向けの基礎的な内容から最新の研究成果まで、興味深い内容が披露された。具体的な内容は「イオンの拡散に注目した無機材料合成」「ナノ結晶成長技術の薄膜熱電材料への応用」「第一原理計算に基づくシリサイド系材料の電子状態」さらに「実用間近のMg₂Si ウェハとその応用」と幅広く、活発な質疑応答が行われた。博士後期課程学生の講演(3件)では、教員から暖かくも鋭い質問がみられ、受け答えの様子は博士前期(修士)課程学生の刺激になったであろう。1日目の夜に開催されたポスター発表では、学生、教員、研究者が分け隔てなく自由な雰囲気得意見交換を行い、予定の発表時間(90分間)が過ぎた後も、そこかしこで議論が続いた。全ての参加者は、会議場のホテルで宿泊しているため、ポスター発表が終わった後も、いくつかの部屋に集まり、夜遅くまで親交を深めた。2日目には、打ち解けた参加者同士が目を輝かせながら議論や会話を楽しむ様子がとても印象的であった。コロナ感染症拡大の為、この数年できなかった親密な交流を行えるのは、小規模な研究会ならではの利点であり、これをきっかけに、今後さらなる研究交流が期待できる。



集合写真 ホテル入口にて



ポスター発表風景